

- 令和6年度末まで、東京港における現地実証が継続予定。また、令和7年度上半期に、横浜港・神戸港における現地実証を実施予定。
- 現地実証結果を踏まえながら、手続き、安全対策、施設配置等の課題について検討を進め、令和7年度中の「水素を燃料とする荷役機械の導入に係るガイドライン(仮称)」(案)の公表を目指す。また、港湾の施設の技術上の基準の改訂を検討する。
- 最新の技術情報等を踏まえた上で、令和8年度の「水素を燃料とする荷役機械の導入に係るガイドライン(仮称)」公表を目指す。

■ 想定スケジュール

